

2011
Jリーグ選手等ホームタウン活動調査

社団法人 日本プロサッカーリーグ

目次

概要

リーグ全体傾向分析

2011年全体傾向サマリー

サマリー(データ)

活動ジャンル別サマリー

活動ジャンル(2011年内訳、2008年/2009年/2010年/2011年比較)

活動対象者(1)(2011年内訳、2008年/2009年/2010年/2011年比較)

活動対象者(2)(2011年活動ジャンル×対象者、対象者数内訳)

活動主催団体(1)(2011年内訳、2008年/2009年/2010年/2011年比較)

活動主催団体(2)(2011年活動ジャンル×主催団体)

活動場所(1)(2011年内訳、2008年/2009年/2010年/2011年比較)

活動場所(2)(2011年活動ジャンル×活動場所)

活動月(2011年活動月、2011年活動ジャンル×活動月)

選手の活動(2011年活動回数分布、活動時間分布(2010年比較))

監督・コーチ・社長の活動(2010年/2011年活動数、活動ジャンル内訳)

クラブ別傾向分析

活動回数増減比率

クラブランキング

活動ジャンル傾向(1)(サマリー)

活動ジャンル傾向(2)(データ)

活動対象者傾向(1)(サマリー)

活動対象者傾向(2)(データ)

活動時間の多い選手(上位3位)

概要

目的など

- ・選手のホームタウン活動への参加状況を、選手毎の参加時間まで詳細に把握する。
- ・クラブ間で情報共有し、今後の活動充実に結びつける。
- ・欧米には選手契約などで、年間の活動参加時間を義務づける例がある。

調査対象

- ・2011年シーズンJ1/J2所属の38クラブによる、トップチームの選手(2種登録含む)、監督・コーチ、社長(理事長)が参加したホームタウン活動

調査方法

- ・2011年1月～12月に行われたホームタウン活動について、各クラブのホームタウン担当がアンケートに入力

・質問項目

名称・活動内容 開催場所 開催時期 開催状況(終了/実施中/予定) 開催回数
クラブ参加者・人数(選手/監督・コーチ/社長) 参加者人数計 対象者区分・人数 活動主体
主な協力団体・分類 各選手活動時間

留意点

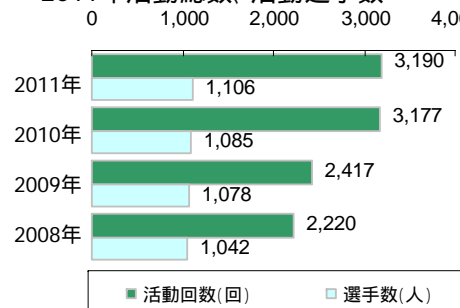
- ・全体の傾向分析のうち、p.6「活動ジャンル別サマリー」～p.15「選手の活動」については、選手もしくは監督・コーチが参加した活動を対象にしている。社長が行った活動はp.16でまとめている。

リーグ全体傾向分析

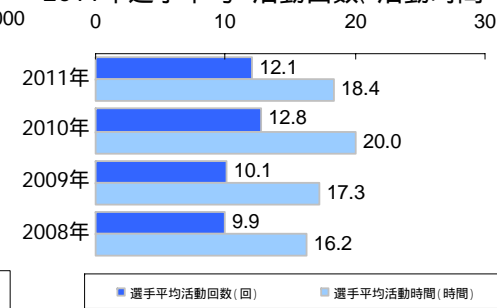
2011年全体傾向サマリー

・2011年の選手等(監督・コーチを含む)ホームタウン活動の活動総数は3,190回となり、10年の3,177回に対し13回増となった。参加した選手数は1,106人で2010年の1,085人から21人の増加(クラブ数は10年は37、11年は38)、選手1人当たりの平均活動回数は12.1回(2010年は12.8回)、平均活動時間は18.4時間(同20.0時間)と、いずれも前年を若干下回った。

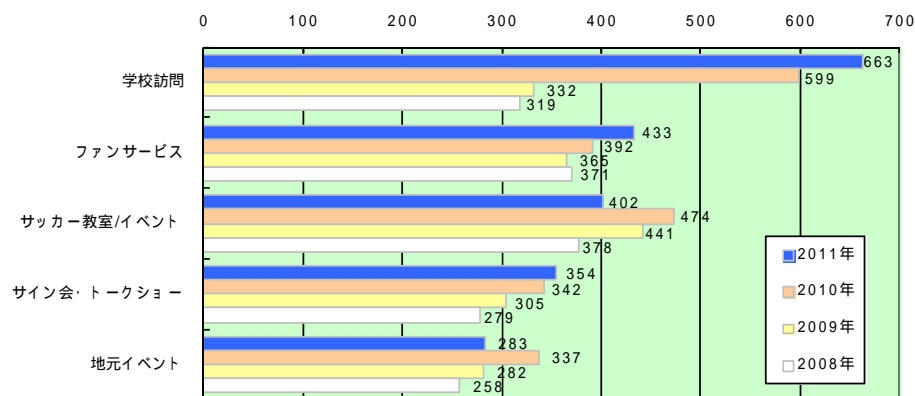
< 2011年活動総数、活動選手数 >



< 2011年選手平均 活動回数、活動時間 >



< 活動ジャンル別 活動推移数(活動上位5ジャンル) >



・活動数は多い順に、「学校訪問」が663回、「ファンサービス」が433回、「サッカー教室/イベント」が402回、「サイン会・トークショー」が354回、「地元イベント」が283回となった。

「学校訪問」は2010年に引き続き最も多い活動で、2番目に多い「ファンサービス」と230回も差がある。

回数を伸ばした「ファンサービス」が、回数を減らした「サッカー教室」を抜いて、2番目に多い活動となっている。

・2010年同様、「学校訪問」、「サッカー教室/イベント」などで「小学生以下(1,217回)」とふれあった回数が多く、対象者ジャンル2位の「ファン/サポーター(835回)」と差が開いている。(p.8参照)

・上位4ジャンルを筆頭に、「クラブ」主催のイベントが多く、「クラブ」主催イベント合計活動数は2,130回。2008年から毎年増加し続けている。クラブの主催比率は、2010年とほぼ同じく、全体の約2/3を占める。(p.10参照)

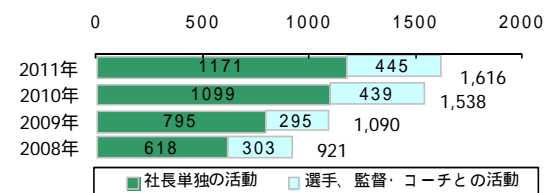
・「行政」が主催となっている「地元イベント」、「サッカー教室/イベント」等への参加にも協力的で、地域との連携も深まっていると考えられる。(p.11参照)

・「学校」での活動が最も多い。「学校訪問」以外に、「サッカー教室/イベント」の会場として使っている。「スタジアム」での「介護福祉活動」、「チャリティーイベント」の増加も見られる。(p.12、13参照)

・活動時期は、シーズン終盤の10-12月にピークがあり、最も多い12月は、「学校訪問」、「表敬訪問」、「サッカー教室/イベント」、「ファンサービス」、「介護福祉活動」を多く実施している。(p.14参照)

・社長活動数は引き続き増加傾向。2009年、2010年同様、活動数の7割の活動を社長単独で実施している。(p.16参照)

< 社長活動数 推移 >



サマリー

選手/監督・コーチの活動総数: 3,190回/年

(2010年:3,177回/年)

(2009年:2,417回/年)

(2008年:2,220回/年)

参加選手総数:

1,106人/年

(2010年:1,085人/年)

(2009年:1,078人/年)

(2008年:1,042人/年)

1クラブ平均活動回数: 83.9回/年、7.0回/月

(2010年:85.9回/年、7.2回/月)

(2009年:67.1回/年、5.6回/月)

(2008年:67.3回/年、5.6回/月)

選手延べ活動時間:

20,313.3時間/年

(2010年:21,708.2時間/年)

(2009年:18,693.8時間/年)

(2008年:16,882.6時間/年)

社長の活動総数:

1,616回/年

(2010年:1,538回/年)

(2009年:1,090回/年)

(2008年:921回/年)

選手平均活動回数:

12.1回/年

(2010年:12.8回/年)

(2009年:10.1回/年)

(2008年:9.9回/年)

社長の1クラブ平均活動回数:

42.5回/年

(2010年:41.6回/年)

(2009年:30.3回/年)

(2008年:27.9回/年)

選手平均活動時間:

18.4時間/年

(2010年:20.0時間/年)

(2009年:17.3時間/年)

(2008年:16.2時間/年)

活動ジャンル別サマリー

サイン会/トークショー (11.1%)

- ・2008年から増加傾向。4番目に多い活動。
- ・約8割がファン/サポーターを対象にしている。
- ・クラブの主催が大半だが、スポンサーの主催で行うものも約1割を占める。
- ・スタジアムで開催するケースが7割程度、街頭/商業施設で行うケースが約2割。
- ・シーズン中の5月～11月はコンスタントに行われている。

ファンサービス (13.6%)

- ・2009年から活動数は増加傾向。2番目に多い活動。
- ・大半がファン/サポーターを対象とした活動。他の対象は小学生(のファン)や不特定(街頭でのイベント)など。
- ・クラブの主催が大半を占めるが、スポンサー主催も約1割を占める。
- ・スタジアムで開催されることが多く、約6割を占める。街頭/商業施設や、一般貸しスペース、クラブ施設のケースもあり。
- ・年間通して行っているが、11月の活動数が最も多く、次いで、7月、10月、12月。

支援団体/ボランティア向けイベント(0.9%)

- ・活動数は2010年から減少。
- ・半数がクラブ主催、半数が後援会自ら主催している。
- ・一般貸しスペースで行うケースが最も多い。
- ・シーズン終了後の12月の活動数が最も多く、次いでシーズン前の2月が多い。

スポンサーイベント (2.2%)

- ・活動数は2010年より増加。
- ・クラブが主催となっているケース以外に、スポンサー自身が主催の場合が約2割ある。
- ・主に一般貸しスペースを利用して開催しているが、企業やスタジアム、街頭/商業施設などでの開催もある。
- ・リーグのシーズン前や終了後の2月、12月の活動数が多い。

地元イベント (8.9%)

- ・活動数は2010年度から減少。
- ・地域住民を対象にしたものが半数以上で、次に不特定の人を対象にしたイベントが続く。
- ・行政主催のイベントが約1/3を占め最も多く、このほか自治会/商店街やスポンサー、地域の実行委員会のものもある。
- ・街頭/商業施設で全体の約半数が行われ、次いで、スポーツ施設/公園で行われるケースも多い。
- ・7月、8月の活動が多い。

サッカー教室/イベント(12.6%)

- ・2010年から活動数は減少。3番目に多い活動で2009年(1位)、2010年(2位)と活動数順位を下げている。
- ・小学生以下の児童を対象にしたものが約7割を占め、その保護者や中学生以上を対象としたものもある。
- ・約4割をクラブが主催しており、他、スポンサー、行政、地元FAも主催している。
- ・スポーツ施設/公園で実施するものが最も多く、スタジアム、学校、クラブ施設と続く。
- ・12月の活動数が最も多く、次いで11月、8月も多い。

学校訪問 (20.8%)

- ・2008年から増加傾向にあり、2010年に引き続き最も多い活動となった。
- ・9割が小学生以下の児童を対象とした活動で、幼稚園への訪問も含まれる。中学生以上を対象としたものもある。
- ・クラブ主催が大半を占めるが、行政、学校主催の場合もある。
- ・年間を通して行っているが、特にシーズン前や終了後の1月、12月の活動が多い。

介護福祉活動 (7.9%)

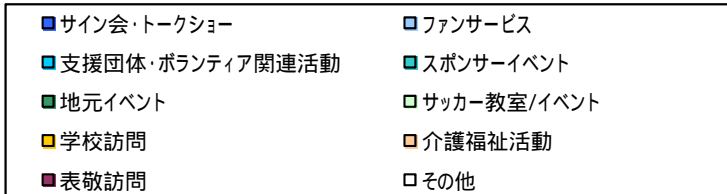
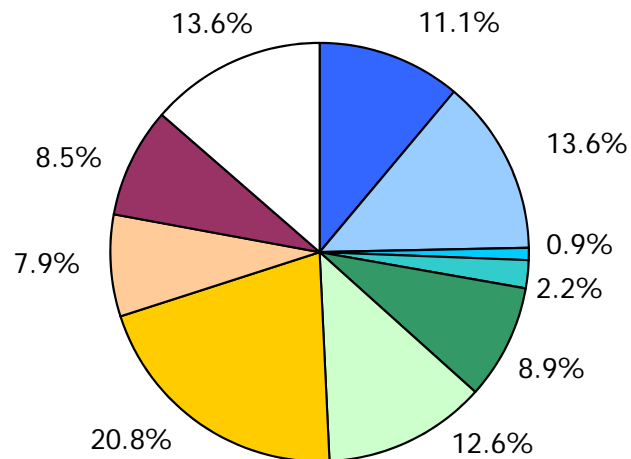
- ・活動数は2010年より増加し、1.5倍となった。
- ・約半数が養護学校や病院などの小学生以下を対象にした活動。次いで、高齢者や障がい者が多い。今年は震災があり、地域住民、避難している人を対象にした活動も多かった。
- ・クラブが主催する活動が多いが、行政が主催するものもある。
- ・福祉施設や病院で行われる活動が約半数で、施設の小学生や被災地の避難者の試合招待でスタジアムや、介護予防事業や被災者へのサッカー教室などスポーツ施設/公園での開催も見られる。
- ・12月の活動が最も多い。慰問活動が多く実施されている。

表敬訪問 (8.5%)

- ・活動数は2010年より減少。
- ・スポンサーを対象とした活動が約7割、行政を対象とした活動が約3割を占める。
- ・シーズン終了の12月が最も多く、次いでシーズン前の1月が多い。

活動ジャンル

2011年 内訳



・最も多い活動は「学校訪問」で、全体の中の約2割を占める。

・以下、「ファンサービス」、「サッカー教室/イベント」、「サイン会・トークショー」、「地元イベント」と続く。

・「その他」の活動には、「集客活動」、「チャリティーイベント」、「スポーツ教室/イベント」、「環境活動」のほか「食育」や「必勝祈願」、「商店会/サポーターティングショップ挨拶回り」、「クラブへの応援品、義援金贈呈式」等も含まれる。

2011年/2010年/2009年/2008年比較

・「学校訪問」は2010年からさらに増加しており、引き続き最も多い活動となった。2010年2位の「サッカー教室/イベント」は活動数を減らしたが、3位の「ファンサービス」は増やしたため、順位が入れ替わった。

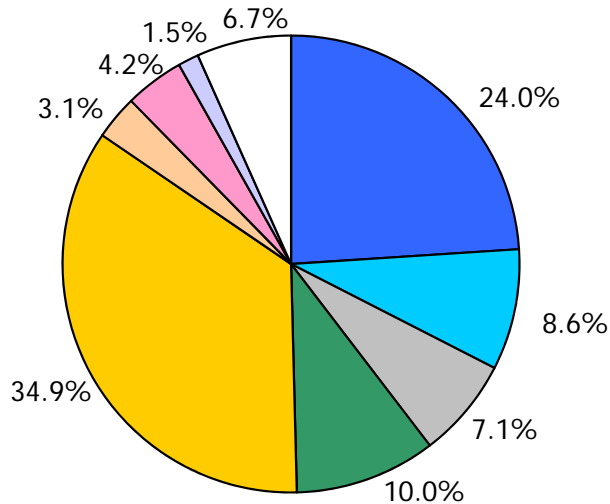
・活動の多い上位5ジャンルのラインナップは変わらない。

・2010年比で大きく増加した活動は、「介護福祉活動」、「チャリティーイベント」。



活動対象者(1)

2011年 内訳



- ファン/サポーター
- スポンサー/株主
- 不特定
- 地域住民
- 小学生以下の児童
- 中学生以上の学生
- 保護者
- 障がい者/高齢者
- その他

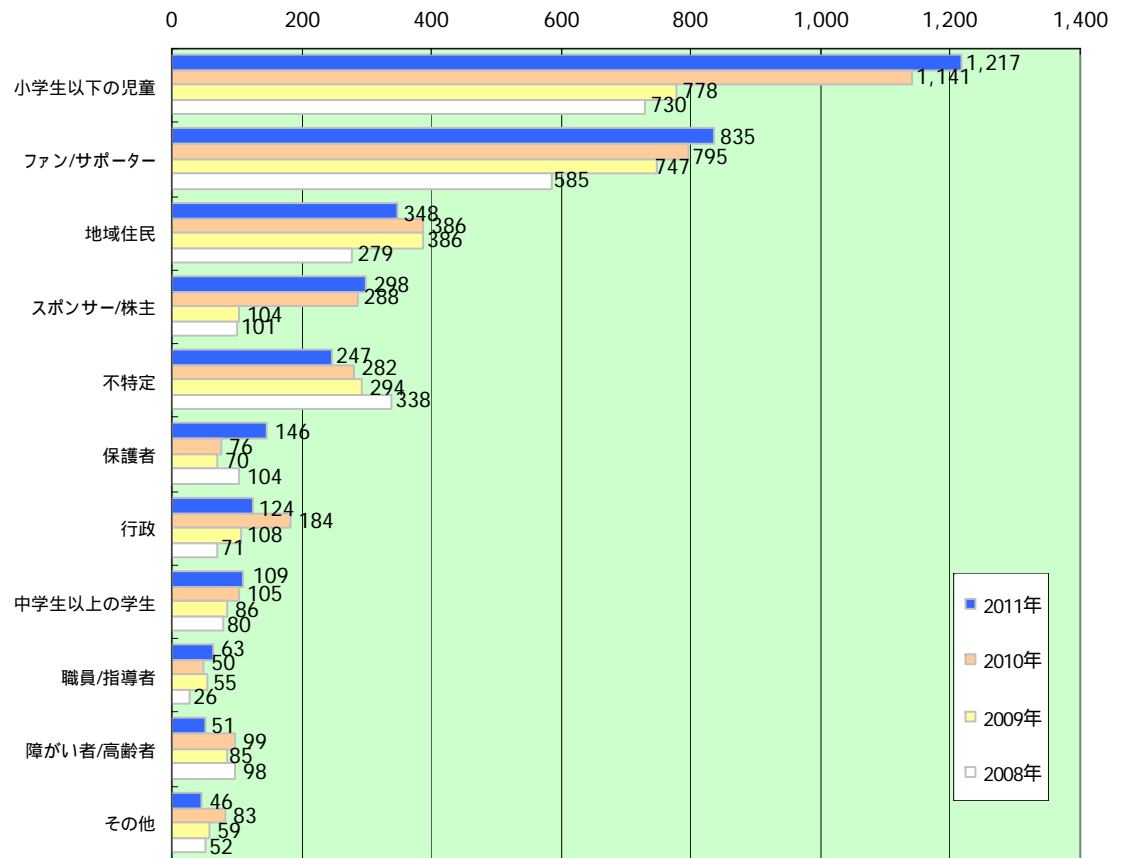
・2010年と分布はほぼ変わらず、最も多い活動対象者は「小学生以下の児童」で全体の1/3。2番目は「ファン/サポーター」で、上位2つが突出している。

・次に多い対象者は「地域住民」で、「スポンサー」が続く。

・「その他」は、知事や市長などの「行政」や「ボランティア」、「支援団体」、「教職員/指導者」等が含まれる。

2011年/2010年/2009年/2008年比較

- ・2008年から「小学生以下の児童」と「ファン/サポーター」の上位2つが突出している傾向が続いている。
- ・2010年に比べ「保護者」が増えており、親子対象のイベント実施が増えていることが分かる。



活動対象者(2)

2011年 活動ジャンル×対象者

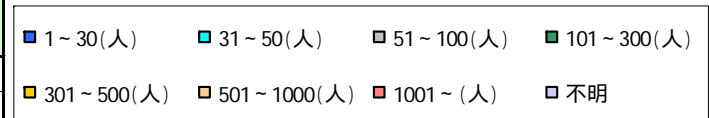
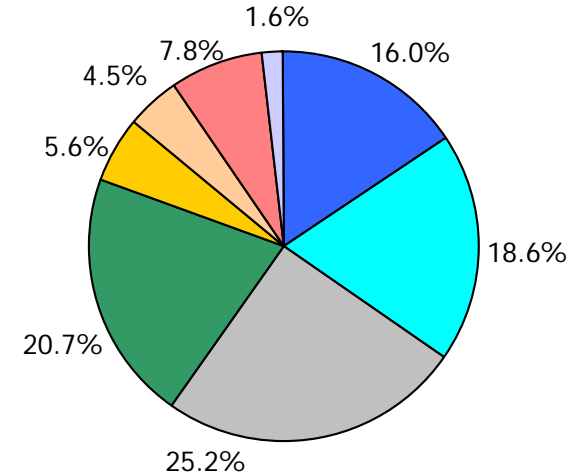
- ・「小学生以下」を対象にした「学校訪問」が2010年からさらに活動数を伸ばし、全活動の中で引き続きトップとなっている。
- ・「サッカー教室/イベント」は「小学生以下」を対象にしたものが多いが、同時に「保護者」も対象としたものも約2割ある。
- ・2011年の「介護福祉活動」の対象は、「障がい者/高齢者」より「小学生以下」の活動の方が多くなった。
- ・「チャリティーイベント」は「ファンサポーター」、「不特定」を対象に、2010年に比べ活動数を大きく伸ばした。

	ファン/サポーター	スポンサー/株主	不特定	地域住民	小学生以下	中学生以上	保護者	障がい者/高齢者	行政	職員/指導者	その他	合計
サイン会・トークショー	298	0	36	18	9	1	0	0	0	1	0	363
ファンサービス	389	4	14	13	22	0	8	0	0	0	1	451
支援団体・ボランティア関連活動	16	0	0	0	0	0	0	0	1	0	13	30
スポンサーイベント	2	69	0	0	1	0	0	0	3	0	1	76
地元イベント	8	4	95	164	10	4	2	2	7	0	4	300
サッカー教室/イベント	11	4	4	5	349	37	72	1	2	1	4	490
スポーツ教室/イベント	4	0	10	11	15	0	3	0	0	0	1	44
学校訪問	0	0	0	0	636	28	14	0	0	28	0	706
介護福祉活動	5	0	3	29	149	26	34	46	1	28	9	330
表敬訪問	1	195	0	3	0	0	0	0	73	1	2	275
講演会	2	2	0	7	1	6	3	0	6	3	4	34
チャリティーイベント	79	1	36	17	3	1	0	0	0	0	0	137
環境活動	2	0	3	8	2	0	0	0	0	1	1	17
集客活動	2	0	26	20	0	1	0	2	4	0	1	56
その他	16	19	20	53	20	5	10	0	27	0	5	175
合計	835	298	247	348	1,217	109	146	51	124	63	46	3,484

■:その活動ジャンルで最も多い □:その活動ジャンルで2番目に多い ただし、網掛けは顕著に多いもののみ

1つの活動について対象者は2つまで選択できるため、上の表の「合計」は「合計活動数」を上回る。

2011年 内訳



・「51~100人」規模の活動が最も多く、「101~300人」、「31~50人」と続く。

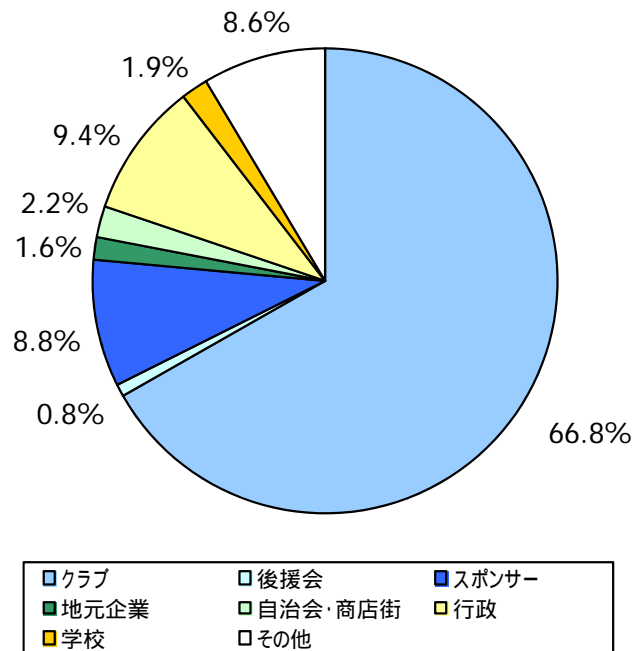
・「51~100人」、「101~300人」の活動は、活動数上位の「学校訪問」、「サイン会・トークショー」、「サッカー教室/イベント」、「ファンサービス」が多くを占めている。

・「1001人~」の活動は、スタジアムでの「ファンサービス」や街頭/商業施設での「地元イベント」の比率が高い。

・「1~30人」は、「表敬訪問」が主な活動となっている。

活動主催団体(1)

2011年 内訳



・クラブが主催となる活動比率は、2010年同様、全体の2/3を占めている。

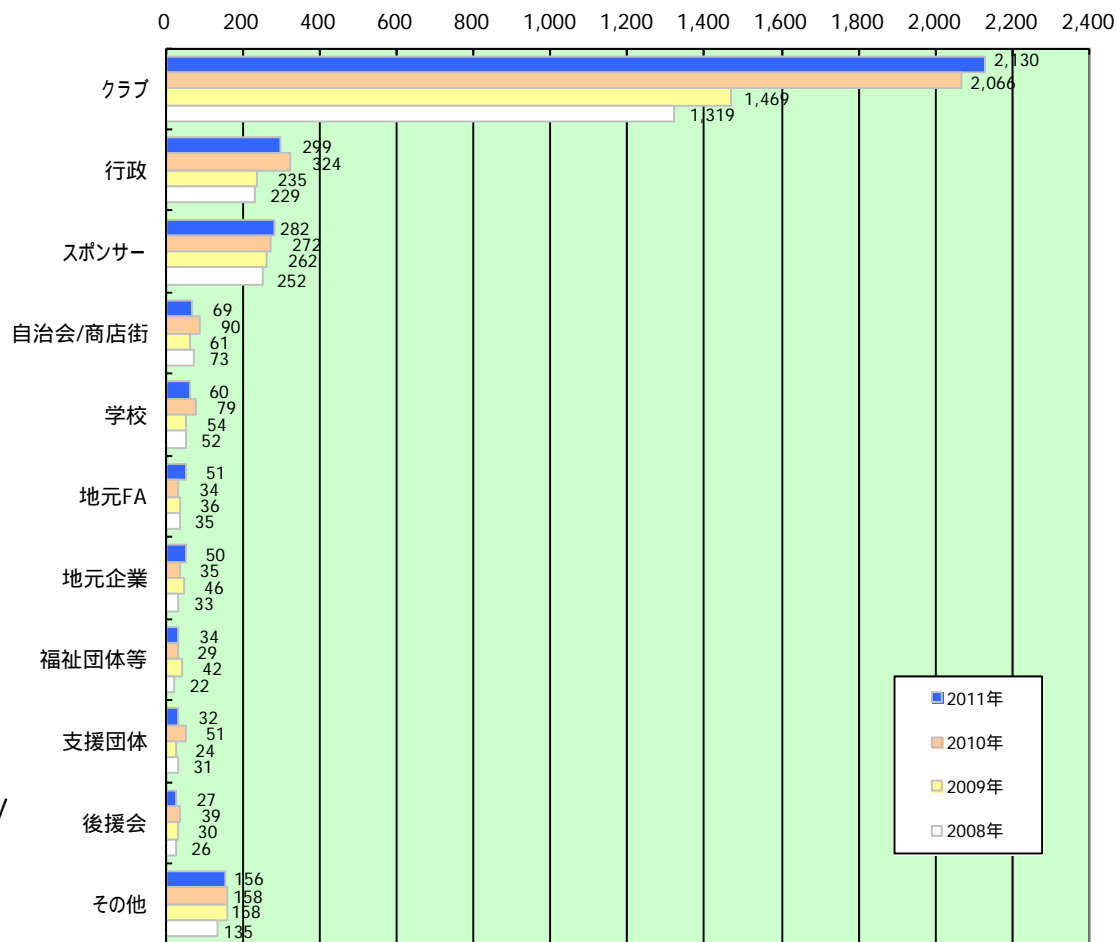
・クラブ以外の主催団体では、「行政」、「スポンサー」による活動が多く、ともに1割弱。

・「その他」には、「地元FA」や「福祉関係」、「メディア」、「リーグ/JFA」、「支援団体」のほか、「他スポーツ団体/少年サッカークラブ」、地元で組織された「実行委員会」、地域の「スポーツ協会・施設」等が含まれる。

2011年/2010年/2009年/2008年比較

・クラブ主催の活動は毎年増加傾向。

・上位5団体のうち、「行政」、「自治会/商店街」、「学校」の主催活動は2010年より減少している。



活動主催団体(2)

2011年 活動ジャンル×主催団体

- ・「支援団体・ボランティア関連活動」、「地元イベント」、「スポーツ教室/イベント」、「講演会」を除くすべての活動は、「クラブ」が主催するケースが最も多い。「クラブ」主催の活動は多い順に、「学校訪問」、「ファンサービス」、「サイン会・トークショー」、「表敬訪問」、「介護福祉活動」。
- ・「行政」主催の活動も多く、最も多いのは「地元イベント」。次いで「サッカー教室/イベント」、「学校訪問」と続く。
- ・「スポンサー」主催の活動は、「ファンサービス」、「サッカー教室/イベント」が多い。

	クラブ	後援会	スポンサー	地元企業	自治会/商店街	行政	学校	地元FA	福祉団体等	その他	合計
サイン会・トークショー	285	1	36	9	1	8	1	0	2	11	354
ファンサービス	334	4	66	5	2	6	0	1	0	15	433
支援団体・ボランティア関連活動	13	15	0	0	0	1	0	0	0	1	30
スポンサーイベント	51	2	12	1	0	0	0	0	0	3	69
地元イベント	1	0	42	12	48	104	5	0	13	58	283
サッカー教室/イベント	157	0	57	17	4	60	11	46	2	48	402
スポーツ教室/イベント	11	0	1	0	2	16	0	0	1	10	41
学校訪問	574	0	0	1	3	44	33	0	0	8	663
介護福祉活動	183	3	16	0	2	24	0	1	15	7	251
表敬訪問	268	1	1	0	0	1	0	0	0	0	271
講演会	0	0	2	1	2	9	6	1	0	6	27
チャリティーイベント	100	0	17	0	3	5	0	1	1	9	136
環境活動	7	1	0	1	0	4	1	0	0	2	16
集客・広報活動	51	0	2	0	1	0	0	0	0	1	55
その他	95	0	30	3	1	17	3	1	0	9	159
合計	2,130	27	282	50	69	299	60	51	34	188	3,190

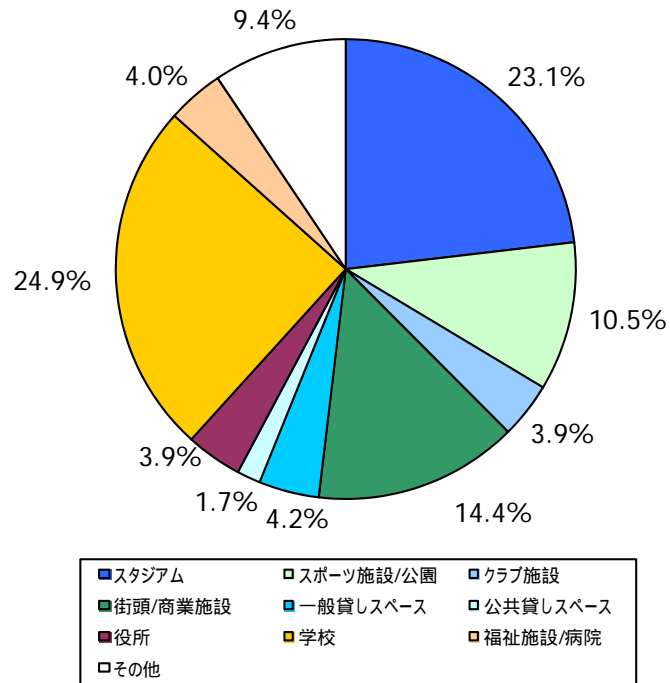
■ : その活動ジャンルで最も多い

■ : その活動ジャンルで2番目に多い

ただし、網掛けは顕著に多いもののみ

活動場所(1)

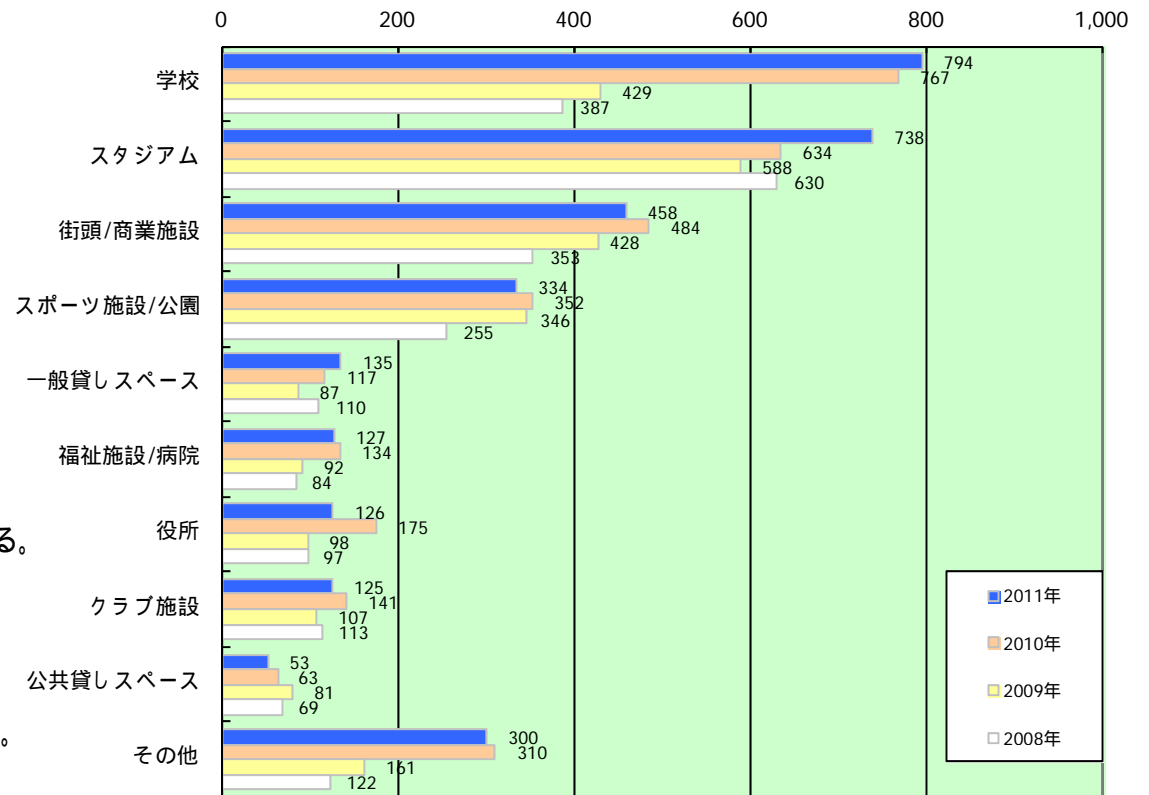
2011年 内訳



- ・「学校」での活動が最も多く、全体の約1/4を占める。
- ・次に多いのは「スタジアム」で、2010年より比率が増加しており、「学校」にほぼ並ぶ。
- ・「その他」の場所には、企業や、神社等が含まれる。

2011年/2010年/2009年/2008年比較

- ・2010年から引き続き、「学校」での活動が最多となった。
- ・上位2箇所「学校」、「スタジアム」での活動は、2010年より増加。一方、他の場所での活動は、「一般貸しスペース」を除き2010年に比べ減っている。



活動場所(2)

2011年 活動ジャンル×活動場所

- ・「学校」は、「学校訪問」が主な活動ではあるが、「サッカー教室/イベント」でも多く使われている。
- ・「街頭/商業施設」は、「地元イベント」の開催場所として多いが、「ファンサービス」、「サイン会・トークショー」や「チャリティーイベント」、「集客活動」も実施している。
- ・「スタジアム」は、「サイン会・トークショー」、「ファンサービス」以外に、「サッカー教室/イベント」、「介護福祉活動」、「チャリティーイベント」の開催も多く見られる。
- ・「サッカー教室/イベント」は、「スポーツ施設/公園」での開催が最も多いが、他に「スタジアム」、「学校」、「クラブ施設」でも行っている。

	クラブ施設	スタジアム	スポーツ施設/公園	一般貸しスペース	街頭/商業施設	学校	公共貸しスペース	福祉施設/病院	役所	企業	その他	合計
サイン会・トークショー	11	250	4	2	73	0	10	0	0	3	1	354
ファンサービス	24	264	11	31	86	1	9	0	1	1	5	433
支援団体・ボランティア関連活動	3	2	0	14	1	0	4	1	1	1	3	30
スポンサーイベント	2	4	2	44	3	1	1	0	0	12	0	69
地元イベント	0	1	44	14	133	18	14	8	16	17	18	283
サッカー教室/イベント	49	77	187	5	5	71	1	0	2	4	1	402
スポーツ教室/イベント	1	5	25	4	3	2	1	0	0	0	0	41
学校訪問	0	0	1	0	0	662	0	0	0	0	0	663
介護福祉活動	5	42	31	5	7	27	6	117	5	1	5	251
表敬訪問	0	0	0	0	0	2	0	0	74	195	0	271
講演会	0	0	1	10	1	5	5	1	4	0	0	27
チャリティーイベント	10	69	6	2	47	0	0	0	0	0	2	136
環境活動	1	3	1	0	6	1	0	0	0	0	4	16
集客活動	0	2	1	0	46	0	0	0	5	0	1	55
その他	19	19	20	4	47	4	2	0	18	3	23	159
合計	125	738	334	135	458	794	53	127	126	237	63	3,190

■ :その活動ジャンルで最も多い

■ :その活動ジャンルで2番目に多い

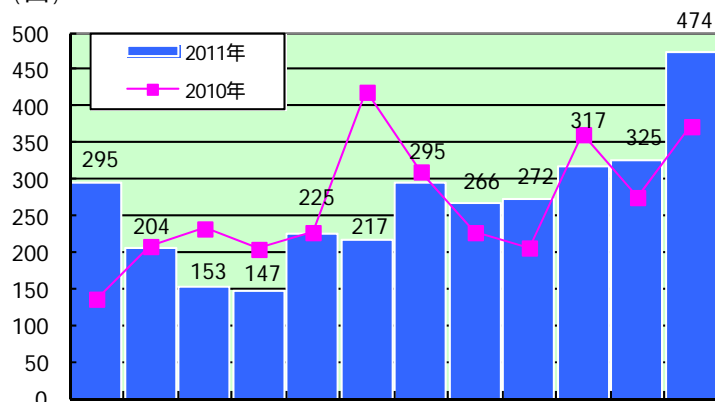
ただし、網掛けは顕著に多いもののみ

活動月

2011年/2010年比較

- ・最も活動が多いのは12月。10月、11月も比較的多く、シーズン終盤と終了後に、ホームタウン活動を積極的に行っている。
- ・3、4月は東日本大震災が影響し、活動数が他の月に比べて少ない。
- ・2010年はワールドカップでJリーグが中断していたため6月のホームタウン活動が多かったが、2011年は他の月とほぼ並んだ。

(回)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
J1リーグ戦						4/23 ~ 12/3						
J2リーグ戦						4/23 ~ 12/3						
ヤマザキナビスコカップ							1回戦 (6/5, 7/27)		2回戦 (9/14, 9/28)			準々決勝(10/4) 準決勝(10/9) 決勝(10/29)
その他			FUJI XEROX SUPER CUP (2/26)									

2011年 活動ジャンル×活動月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
サイン会・トークショー	11	9	10	16	38	37	42	41	48	48	36	18	354
ファンサービス	30	22	11	15	35	39	48	43	39	48	55	48	433
支援団体・ボランティア関連活動	4	5	2	0	3	0	1	1	1	0	0	13	30
スポンサーイベント	4	21	1	4	0	2	3	7	3	4	4	16	69
地元イベント	11	9	3	6	17	13	54	53	24	40	33	20	283
サッカー教室/イベント	34	15	17	11	28	28	31	50	39	29	58	62	402
スポーツ教室/イベント	4	0	0	0	5	0	4	5	3	13	4	3	41
学校訪問	86	41	9	20	54	57	56	6	63	83	75	113	663
介護福祉活動	17	3	31	17	22	4	26	21	14	30	16	50	251
表敬訪問	56	34	15	21	1	3	7	1	6	3	21	103	271
講演会	8	2	2	2	1	1	3	0	0	1	2	5	27
チャリティーイベント	0	2	36	22	13	13	7	11	5	8	7	12	136
環境活動	0	0	0	4	2	3	1	1	1	1	1	2	16
集客活動	0	22	5	4	1	7	3	0	3	1	5	4	55
その他	30	19	11	5	5	10	9	26	23	8	8	5	159
合計	295	204	153	147	225	217	295	266	272	317	325	474	3,190

■ : その活動ジャンルで最も多い
 ■ : その活動ジャンルで2番目に多い
 ただし、網掛けは顕著に多いもののみ

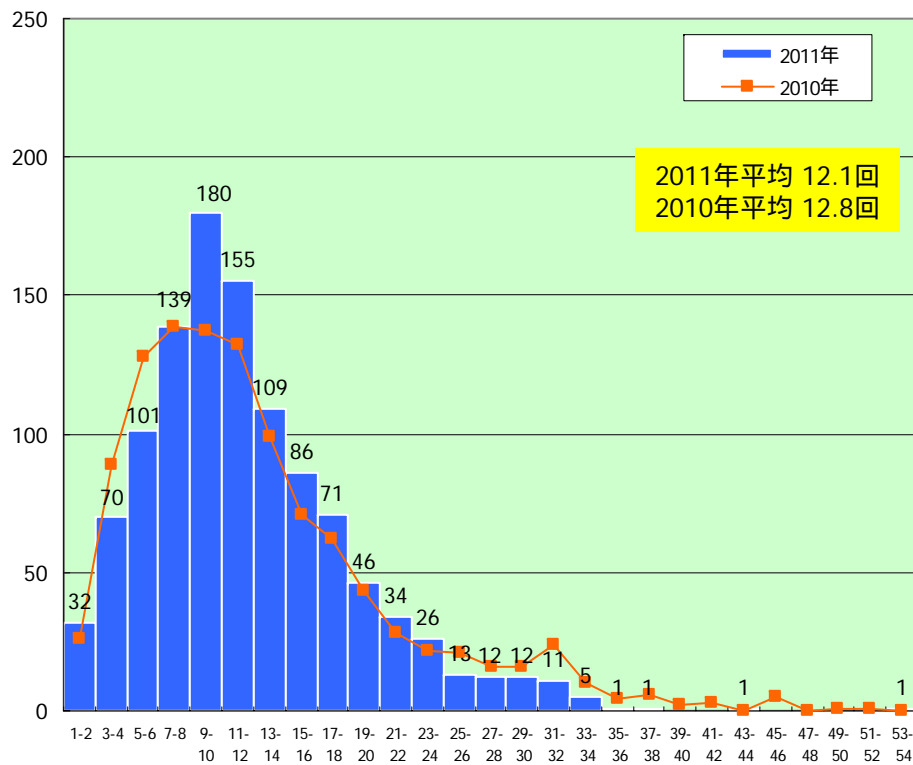
- ・最も活動が多かった12月は、「学校訪問」、「表敬訪問」を多く実施。シーズン前の1月も同様。
- ・12月は他に、「ファンサービス」、「サッカー教室/イベント」、「介護福祉活動」等も多い。
- ・年間通して行われている活動は「サイン会・トークショー」、「ファンサービス」、「サッカー教室/イベント」。
- ・3、4月に「チャリティーイベント」が集中しており、ホームタウンでも東日本大震災に関するイベントを実施したことが分かる。

選手の活動

2011年活動回数分布 (2010年比較)

- ・選手ひとりの活動回数は、9-10回を中心に7-12回がピークとなっている。中心は、2010年の7-8回より増加。
- ・2010年と比較して、25回以上の活動した選手数が減少しており、平均は0.7回減少となった。
- ・最も多い選手の活動回数は53回。

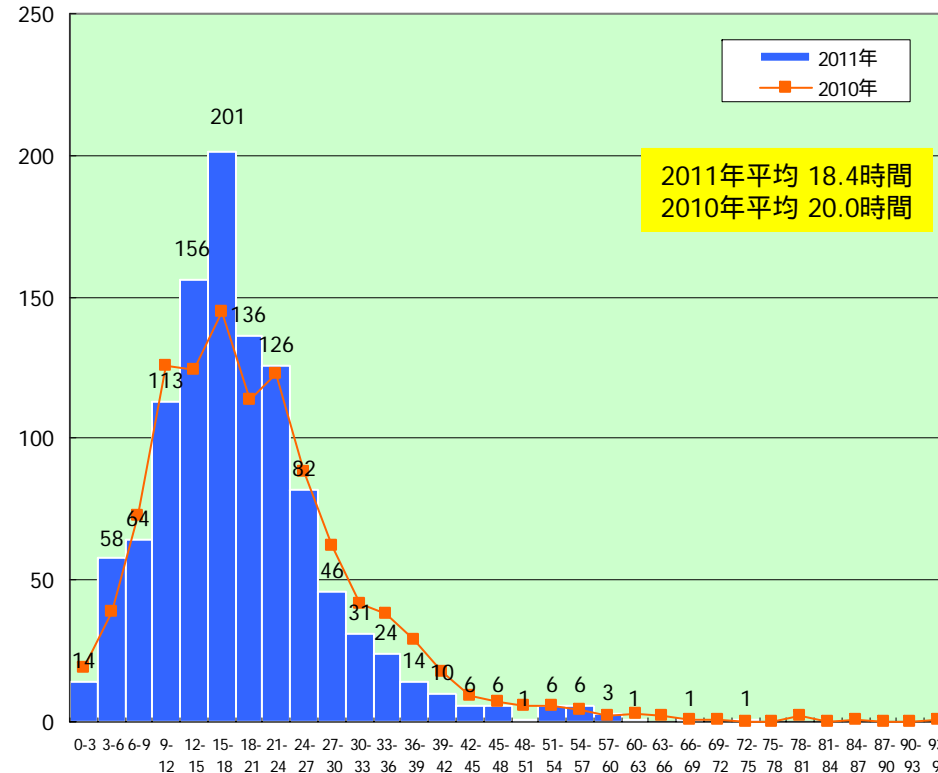
(人)



2011年活動時間分布 (2010年比較)

- ・選手の活動時間のピークは2010年と同じく、15-18時間。
- ・2010年に比べて、15-18時間に集中し、24時間以上活動した選手が減少。平均1.6時間減少となった。
- ・最も多い選手の活動時間は、73.5時間。

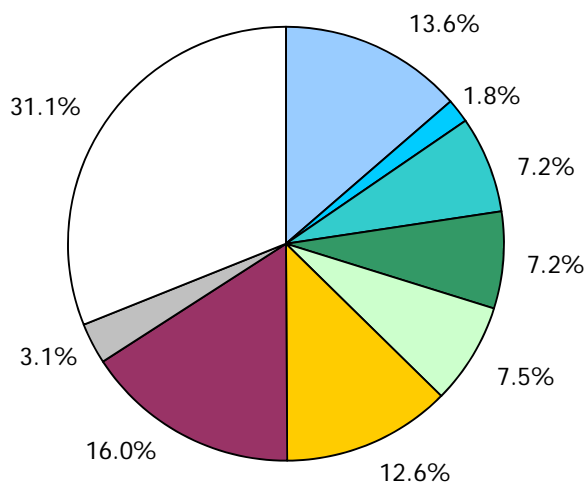
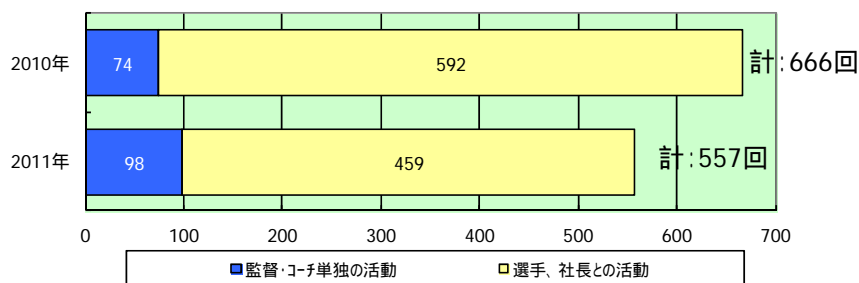
(人)



監督・コーチ/社長の活動

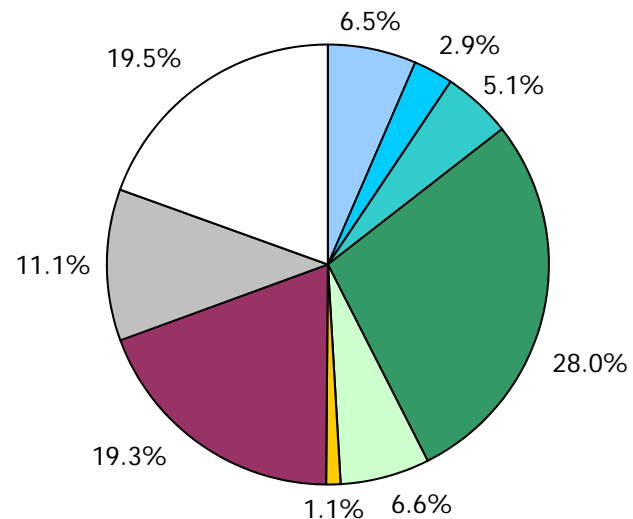
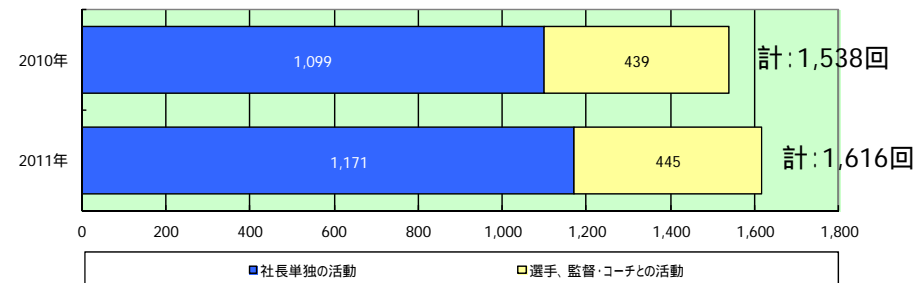
2011年 監督・コーチの活動

- ・監督・コーチの活動数は2010年と比べて減少。
- ・監督・コーチが単独で行動するケースは、全体の約2割。2010年の約1割に比べ、増加している。
- ・活動ジャンルで最も多いのは「表敬訪問」、次いで「ファンサービス」、「学校訪問」の順になっている。
- ・「その他」には、「介護福祉活動」、「チャリティーイベント」や、必勝祈願、クラブへの贈呈式などが含まれる。



2011年 社長の活動

- ・社長の活動数は、2010年と比べて増加。
- ・社長単独での活動が全体の7割で、この比率は2010年とほぼ同等。
- ・最も多い「地元イベント」には、地域の会議への出席のほか、新年会や交歓会等への参加も含まれる。「地元イベント」を主催する「行政」や「自治会・商店街」との連携強化活動が多いことが分かる。
- ・「その他」には、監督・コーチと同じく「介護福祉活動」、「チャリティーイベント」や、「集客活動」、クラブのための活動（「必勝祈願」、「クラブ激励イベント、盛り上げプロジェクト」、「商店街巡回営業活動」など）が含まれる。



クラブ別傾向分析

活動回数増減比率

選手もしくは監督・コーチが参加した活動(社長単独の活動は除く)

・比較可能な全37クラブ中、半数の19クラブが2010年より活動数が増加。

・リーグ全体での活動回数は、2010年比0.4%増で微増。

	2011年			2010年
	2010年比	2010年差	活動実数	活動実数
全体	100.4%	13	3,190	3,177
札幌	129.5%	39	171	132
仙台	181.0%	34	76	42
山形	113.9%	17	139	122
鹿島	100.0%	0	49	49
水戸	111.1%	9	90	81
栃木	111.9%	10	94	84
草津	81.6%	-9	40	49
浦和	70.6%	-15	36	51
大宮	109.5%	6	69	63
千葉	56.3%	-45	58	103
柏	61.6%	-28	45	73
F東京	48.4%	-82	77	159
東京V	130.3%	10	43	33
川崎F	164.0%	32	82	50
横浜FM	62.2%	-31	51	82
横浜FC	114.3%	12	96	84
湘南	115.9%	11	80	69
甲府	92.7%	-6	76	82
新潟	126.4%	14	67	53

	2011年			2010年
	2010年比	2010年差	活動実数	活動実数
富山	82.9%	-18	87	105
清水	81.1%	-25	107	132
磐田	115.3%	15	113	98
名古屋	98.5%	-1	64	65
岐阜	56.5%	-93	121	214
京都	127.3%	18	84	66
G大阪	93.4%	-10	141	151
C大阪	40.0%	-21	14	35
神戸	205.6%	150	292	142
鳥取	-	-	109	-
岡山	91.8%	-5	56	61
広島	135.7%	15	57	42
徳島	60.0%	-44	66	110
愛媛	51.8%	-41	44	85
福岡	111.4%	4	39	35
北九州	30.0%	-63	27	90
鳥栖	96.0%	-2	48	50
熊本	122.8%	21	113	92
大分	118.2%	26	169	143

■ : 2010年比、100%より大きいスコア

クラブランキング

活動数

2011年の選手・監督・コーチの活動回数を比較

神戸 (292回)

札幌 (171回)

大分 (169回)

延べ選手参加人数

2011年に参加した選手の延べ数

G大阪 (658人)

大分 (595人)

甲府 (583人)

選手平均活動時間

選手1人当たりの年間平均活動時間

岐阜 (29.9時間)

札幌 (29.6時間)

大分 (29.4時間)

上位選手の平均出場時間

活動時間上位10位までの選手の1試合平均出場時間

横浜F M (54.4分)

浦和 (47.8分)

新潟 (45.7分)

1つの活動の平均起用選手数

延べ選手参加人数を選手が参加した活動数で割ったもの

C大阪 (11.0人)

北九州 (10.2人)

千葉 (8.4人)

監督・コーチ / 社長の活動回数

監督・コーチ

社長

熊本 (65回)

大宮 (266回)

京都 (49回)

仙台 (161回)

G大阪 (30回)

川崎F (133回)

クラブ主催 / その他主催比率

クラブ主催

その他主催

神戸 (96.6%)

甲府 (69.7%)

横浜F C (91.7%)

岐阜 (62.8%)

磐田 (90.3%)

浦和 (61.1%)

活動ジャンル傾向(1)(サマリー)

(各クラブの選手もしくは監督・コーチが参加した活動のうち最も多い活動で分類)

サイン会・トークショー

栃木()、大宮、湘南、甲府、岐阜、鳥取

ファンサービス

千葉、横浜FC、新潟、G大阪、C大阪、熊本

学校訪問

栃木(*)、柏、横浜FM()、富山、名古屋、京都、
神戸、広島、徳島、鳥栖

サッカー教室/イベント

水戸、草津、浦和、岡山、愛媛、福岡

上記のジャンル以外

地元イベント

東京V、大分

チャリティーイベント

川崎F

表敬訪問

札幌、F東京()、清水、磐田、北九州

その他

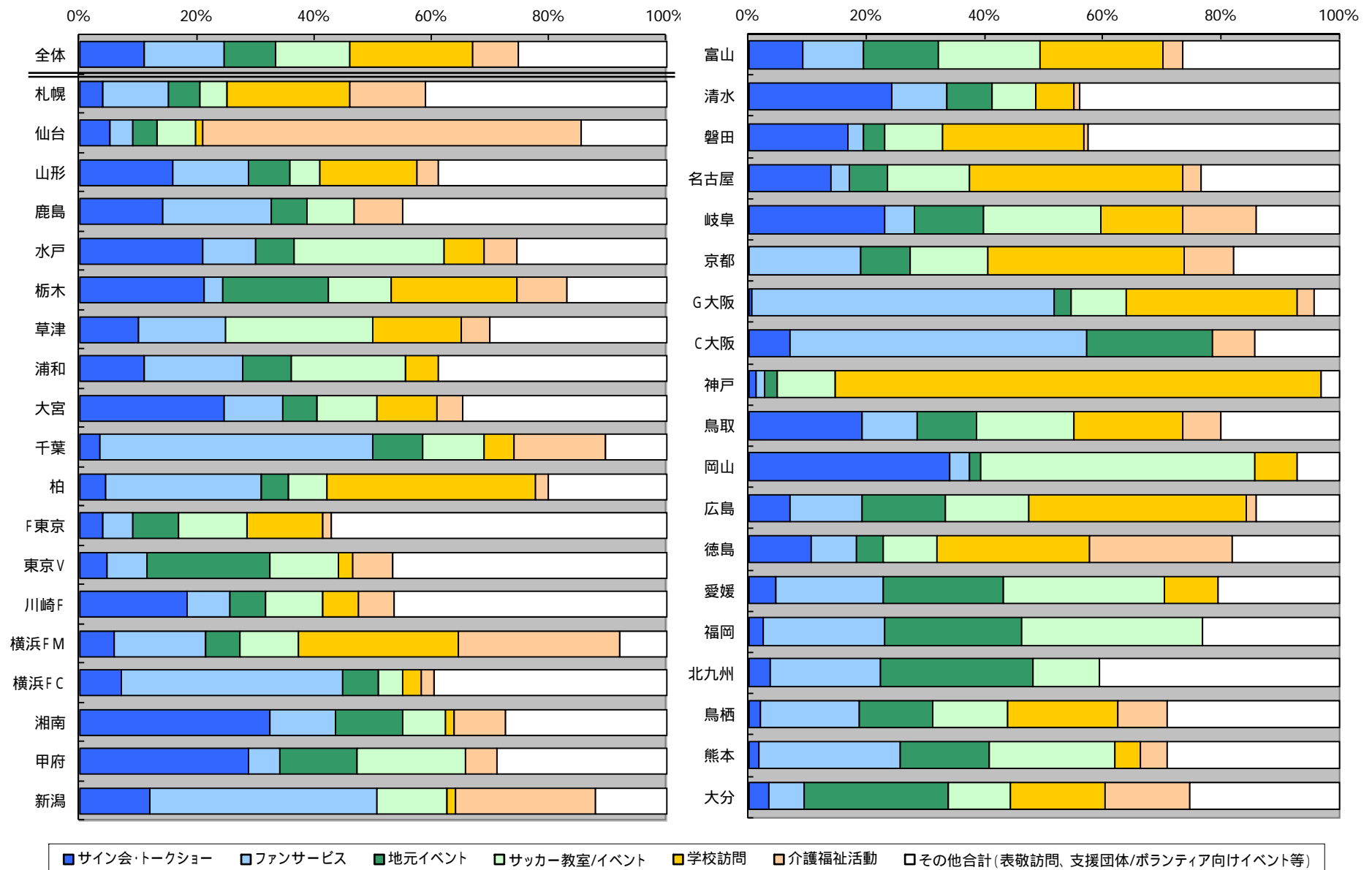
山形、鹿島、F東京()

介護福祉活動

仙台、横浜FM()

最も多い活動が複数あるクラブ: 栃木、F東京、横浜FM

活動ジャンル傾向(2)(データ)



活動対象傾向(1)(サマリー)

(各クラブの選手もしくは監督・コーチが参加した活動のうち最も多い活動で分類)

ファン/サポーター

山形、水戸、栃木、浦和、大宮、千葉、柏()、
川崎F、横浜FC、湘南、甲府、新潟、C大阪、熊本

スポンサー/株主

清水、磐田、北九州

地域住民

仙台()、鹿島、F東京

小学生以下

札幌、仙台()、草津、柏()、横浜FM、富山、
名古屋、岐阜、京都、G大阪、神戸、鳥取、岡山、
広島、徳島、愛媛、福岡、鳥栖、大分

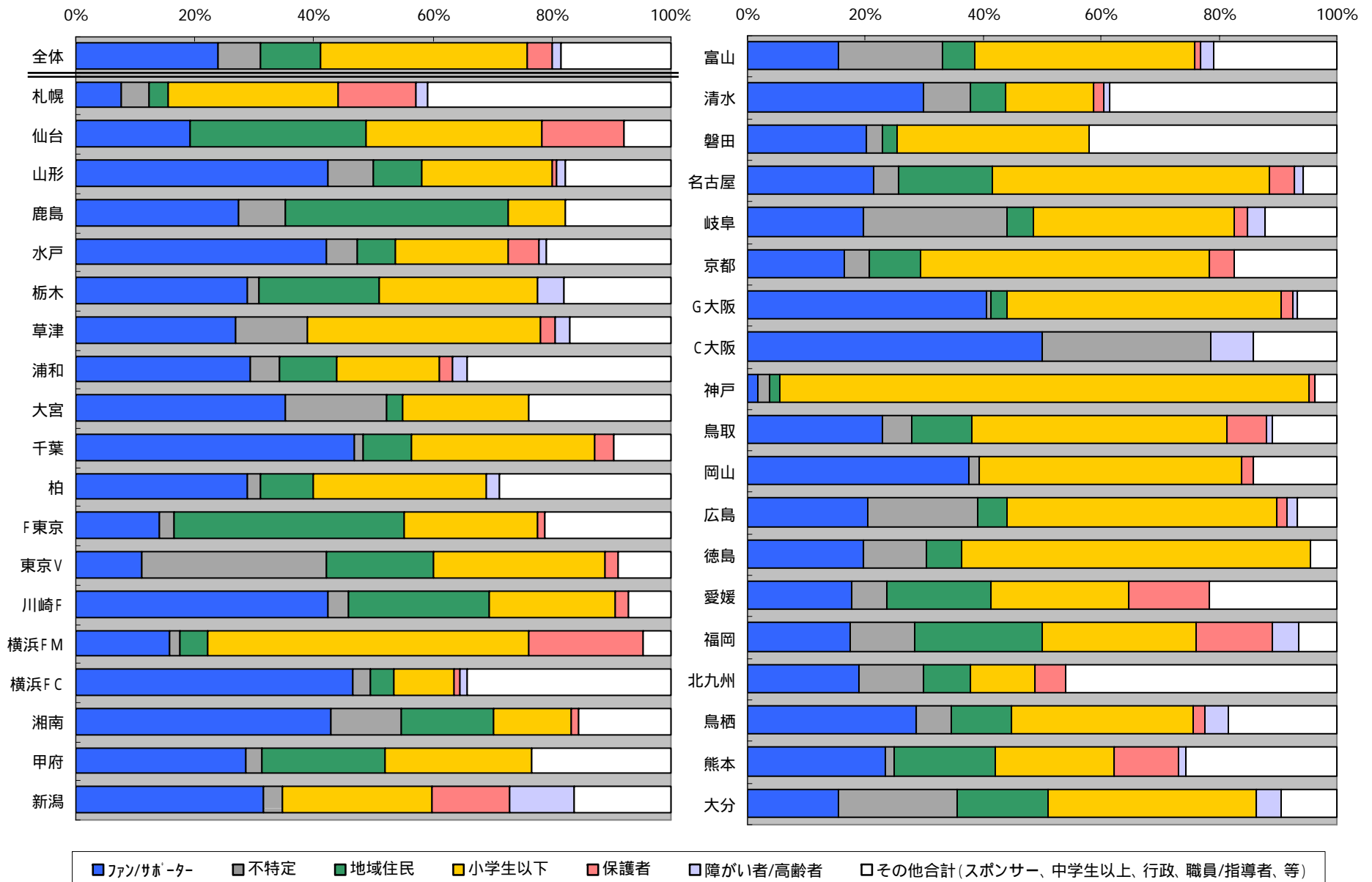
上記の対象以外

不特定

東京V

最も多い対象者が複数あるクラブ: 仙台、柏

活動対象傾向(2)(データ)



活動時間の多い選手(上位3位)

札幌		仙台		山形		鹿島		水戸		栃木		草津		浦和		大宮	
横野純貴	66.0	大久保剛志	36.5	中村隼	45.5	興梠慎三	55.0	飯田優二	36.5	鴨志田誉	31.5	林勇介	21.0	鈴木啓太	20.5	橋本早十	21.0
曳地裕哉	55.0	関口訓充	31.0	中野圭	44.0	田代有三	47.5	神村颯	32.0	赤井秀行	30.0	星野悟	20.0	加藤順大	16.5	金澤慎	18.0
古田寛幸	53.0	菅井直樹	29.0	鈴木雄太	38.0	昌子源	44.0	大塚翔太	31.5	入江利和	29.5	永田拓也	18.6	高橋峻希	16.0	宮崎泰右	18.0
三上陽輔	53.0									渡部博文	29.5			清水慎太郎	18.0		
														渡部大輔	18.0		

千葉		柏		F東京		東京V		川崎F		横浜FM		横浜FC		湘南		甲府	
佐藤慎之介	38.5	田中順也	15.5	石川直宏	26.0	キローラン菜入	28.0	田中雄大	32.5	小野裕二	22.0	村井泰希	16.5	野澤洋輔	20.0	柏好文	36.5
藤本修司	37.0	相馬大士	15.0	高橋秀人	23.0	竹中公基	28.0	福森晃斗	28.0	小林祐三	22.0	井手口正昭	16.0	小澤雄希	20.0	石原克哉	28.5
戸島章	30.0	北嶋秀朗	11.0	常澤聡	20.5	高木善朗	28.0	谷尾昂也	26.0	金井貢史	22.0	荒堀謙次	16.0	鎌田翔雅	19.0	パウリーニョ	28.5
										青山直晃	22.0			松浦勇武	19.0		
										谷口博之	22.0						

新潟		富山		清水		磐田		名古屋		岐阜		京都		G大阪		C大阪	
三門雄大	19.0	松原優吉	42.0	大前元紀	26.0	竹重安希彦	26.5	藤本淳吾	31.0	重成俊弥	60.0	下畠翔吾	33.5	武井択也	33.7	杉本健勇	17.5
酒井宣福	18.5	棚橋雄介	41.5	高木俊幸	21.5	黄誠秀	23.5	中村直志	29.0	ラファエル	54.5	山田俊毅	33.0	大森晃太郎	33.4	丸橋祐介	17.0
藤田征也	16.0	酒井貴政	39.0	橋章斗	21.5	植村慶	15.5	花井聖	27.0	阪本一仁	52.3	加藤弘堅	27.5	加地亮	28.4	永井龍	16.5
				樋口寛規	21.5												

神戸		鳥取		岡山		広島		徳島		愛媛		福岡		北九州		鳥栖	
森岡亮太	36.5	西尾峻	33.0	李彰剛	58.0	原裕太郎	26.0	石川雅博	20.5	小笠原侑生	29.0	畑本時央	27.5	池元友樹	13.0	柳澤隼	47.5
紀氏隆秀	34.0	福井理人	27.5	小林優希	58.0	大崎淳矢	25.5	島村毅	18.5	兼田亜季重	28.5	孫正倫	25.0	木村祐志	13.0	奥田達朗	47.0
有田光希	30.0	水本勝成	21.5	白井仁志	58.0	井波靖奈	25.5	衛藤裕	17.5	越智亮介	25.0	牛之濱拓	24.0	関光博	11.5	守田創	38.0
林佳祐	30.0							佐藤晃大	17.5	岡本剛史	25.0			重光貴葵	11.5		
								杉本恵太	17.5					林祐征	11.5		
														安田晃大	11.5		
														佐藤優也	11.5		

熊本		大分	
三浦天悟	33.5	安藤永倫	73.5
片山朗	33.0	小手川宏基	54.5
田中俊一	31.5	井上裕大	46.0

: 1試合当たり平均出場時間60分以上の選手
 : 1試合当たり平均出場時間10分以下の選手